

令和元年度第2回たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場利用者懇談会

1 日 時 令和元年11月1日（金）午後7時から午後9時まで

2 会 場 調布市文化会館たづくり10階 1002学習室

（東京都調布市小島町2丁目33番地1）

3 出席者 利用者 6人

事務局 10人

<調布市>

佐々木文化生涯学習課長補佐

<公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団>

吉田常務理事、土方理事、阿部事務局長、木村企画課長、

土井文化・コミュニティ事業課長、藤堂芸術振興事業課長

常廣企画課長補佐、大割企画課副主幹

岡野芸術振興事業課副主幹

4 資 料

令和元年度第2回たづくり・グリーンホール利用者懇談会

（令和元年11月1日）要望事項等対応表【令和元年10月18日現在】

《次第》

1 開会

2 財団挨拶 吉田常務理事

3 出席者紹介 調布市及び財団出席者の紹介

4 連絡事項 発言者の注意事項

5 懇談

6 閉会

○木村企画課長

それでは、定刻となりましたので、ただいまから令和元年度第2回たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場利用者懇談会を開会します。

進行については、お手元に配布した利用者懇談会の次第に沿って進行します。

初めに、本日の配布資料を確認します。

利用者懇談会の次第です。令和元年度第1回たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場利用者懇談会において寄せられた要望事項等対応表です。

続いて、次第の2、財団挨拶、常務理事の吉田より御挨拶申し上げます。

○吉田常務理事

皆様、こんばんは。常務理事の吉田と申します。

本日は、お忙しい中、今年度2回目となります利用者懇談会にお越しいたごき、誠にありがとうございます。

今月の台風では多くの方が被災者となり、まだ平常生活に戻ることができない方もたくさんいらっしゃいます。お見舞い申し上げたいと思います。

実は、今回は当財団が管理するグリーンホール、くすのきホールを避難所として開放しました。災害対応についても多くのことを学び、改めて安全で安心な施設の管理運営の重要性について思いをめぐらせたところです。

こうした中ではありましたが、10月17日に、無事に第64回市民文化祭が開会となり、11月17日まで開催されています。たづくり、グリーンホール、市内の各公民館を会場に、日ごろの文化活動の成果を発表してもらっており、先日、私たちも見学しましたが、大変多くの方たちが訪れており、調布市ならではの文化の裾野の広がりを感じています。

最近の財団のことを少し御紹介しますと、今年はラグビーワールドカップということで、今も駅前パブリックビューイングが開催中ですが、グリーンホールなどを会場として、そちらへの協力もしています。

また、この機会にということで当財団でも、エントランスホールの壁面にラグビー選手の力強い墨絵を装飾したり日本の伝統文化に触れてほしいということで、能楽事業の展示や公演事業なども行っています。

また一方、今年から指定管理者として管理することになりましたせんがわ劇場においても、ピアノコンクール、演劇コンクールなど、次世代の人材育成にかかわる事業も順調に

推移し、劇場事業を楽しむ市民も増えているかと思っております。

本日は、限られた時間ではありますが、このような懇談会をとおしまして直接意見を伺い、すぐには解決できないことも積み重ねて、より良い施設運営にしていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

○木村企画課長

次に出席者紹介です。

最初に、調布市側の出席者から紹介します。

生活文化スポーツ部文化生涯学習課・佐々木課長補佐です。

○佐々木文化生涯学習課長補佐

文化生涯学習課の佐々木です。よろしくお願いします。

○木村企画課長

次に、私ども文化・コミュニティ振興財団の出席者です。

常務理事の吉田です。

○吉田常務理事

よろしくお願いします。

○木村企画課長

理事の土方です。

○土方理事

よろしくお願いします。

○木村企画課長

事務局長の阿部です。

○阿部事務局長

事務局長の阿部です。よろしくお願いします。

○木村企画課長

文化・コミュニケーション事業課長・土井です。

○土井文化・コミュニティ事業課長

土井です。よろしくお願いします。

○木村企画課長

芸術振興事業課長・藤堂です。

○藤堂芸術振興事業課長

藤堂です。よろしくお願いします。

○木村企画課長

企画課長補佐・常廣です。

○常廣企画課長補佐

常廣です。よろしくお願いします。

○木村企画課長

企画課副主幹・大割です。

○大割企画課副主幹

大割です。よろしくお願いします。

○木村企画課長

芸術振興事業課副主幹・岡野です。

○岡野芸術振興事業課副主幹

岡野です。よろしくお願いします。

○木村企画課長

最後に、本日進行を務めます企画課長の木村です。どうぞよろしくお願いします。

続いて連絡事項です。この懇談会に際してのお願いなど、連絡事項が3点あります。

1点目、お手元に配布してあります出席者票に記入をお願いします。特に座席番号の記入忘れのないように、お帰りの際には机の上に伏せてお帰りください。住所欄には町名のみで結構です。もしくは所属団体名の記入、そして氏名をお書きください。

2点目、この懇談会では情報公開用の会議録作成のため、録音をさせていただきます。これを要約した形でホームページで公表し、また、財団報「ぱれっと」には抜粋した形で掲載します。

なお、発言者の氏名は公表しません。

3点目、この会の終了予定時刻は午後9時までとします。

初めて参加される方もいらっしゃると思いますので、利用者懇談会について説明します。

日頃、たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場を利用されている方々と意見交換し、お寄せいただく意見等により、より良い運営を目指すことを趣旨としています。スムーズな進行を心がけますので、御協力のほど、よろしくお願いします。

次第の5、懇談に入る前に、本年7月に行った利用者懇談会での意見等に対するその後の対応確認をします。本日の配布資料、要望事項等対応表の右側の欄に、太字下線で「令

和元年10月18日現在」と記した対応状況の部分についての確認です。

まず意見、要望について、「土日祝日を含め、昼食を手軽に販売してもらえる取組について、「事業所へ確認した」とのことですが、事業所とはどこのことか。また、市役所の食堂が耐震の工事でなくなり、市民が不便をしているのだということを担当部署に伝えてほしい。販売元の公募や建物の外での販売など検討してもらいたい」という要望に対してのその後の経過として、「たづくり1階のレストランでは、土日は現在もサンドイッチを販売しています。また、事前に予約してつくってもらうこともできます」という回答です。

2点目です。「御意見として承りますというのをやめてくださいというのを前回提案した。実際に御意見として承った点を実際実施することになったら、それを提案者に連絡してもらいたい」とのことについて、「対応の可否について、明確にお伝えできるよう努めてまいります」。

以上がその後の対応になります。

それでは、文化生涯学習課から補足がありましたら、お願いします。

○佐々木文化生涯学習課長補佐

お手元に配布している要望事項等対応表の2ページ目に、前回、グリーンホールの整備に関して意見を多々いただきました。そちらに関して私から説明します。

グリーンホールの今後については、総合福祉センターとあわせて、今後の方向性及び施設整備に関する考え方について、今年度中にまとめていくことをこれまでに説明させていただいています。その過程においては、市民の皆様から意見をいただくための市民参加の手続の実施についても検討しており、その旨も説明させていただきました。

この間、庁内での議論を重ね、現時点での考え方について、年内ぐらいを目途として、我々生活文化スポーツ部では、グリーンホールに関しての整備の考え方について、福祉健康部では総合福祉センターの考え方について、それぞれの利用団体や関係者への説明、意見交換を行う予定です。

既にグリーンホールに関しては、10月29日(火曜日)文化協会との意見交換を実施したところです。今後も桐朋学園、バツハ・コレギウム・ジャパン、調布市青少年吹奏楽団、老人クラブ連合会など、定期的にグリーンホールを利用いただいている団体の方々への説明と意見交換を実施していく予定です。

こうした利用団体等の意見交換を生活文化スポーツ部、福祉健康部がそれぞれ年内を目途として実施しまして、その状況を踏まえて、グリーンホール及び総合福祉センターに関

する整備の考え方について、広く市民の皆様説明、意見交換する場、あるいはパブリックコメントを実施するような進み方になります。その実施時期については、年明け以降に見定めていくことになるかと考えています。

本日は、文化・コミュニティ振興財団で管理運営しているたづくり、グリーンホール、せんがわ劇場の3館について、さらに安全で快適な施設としてお使いいただけるよう意見交換する場ですので、本件については、本日は詳細な説明はいたしません、我々としては、定期的に利用している団体以外の方々についても、御要望がありましたら、説明、意見交換の場は持たせていただければと考えていますので、よろしくお願いします。

○木村企画課長

それでは、お1人ずつ、先ほどの要望事項対応表についての質問も含め、意見等をいただきます。出席者全員からお話を伺いたいの、御理解、御協力いただきますようお願いいたします。全員の方が話す時間を確保するため、時間を配分することがありますので、あらかじめ御了承ください。発言の前にはお名前をお願いします。

時計回りの順番でお願いしますので、私から見て、左側のLの席の方からお願いします。

○L

たづくりでは、部屋もさることながら、印刷室を頻繁に借りて、版下代だけで済んでいるのがとても助かります。これを今後も末永く続けていただきたいと思います。

私もここに出席してまだ4、5回ですが、市役所の食堂がなくなりましたので、たづくりの中で昼食難民が発生することが多いです。「夜からの会議に職場から直接来た人が、あんパンの1つぐらい食べたいが、そういったものを売るところがない。」「コンビニとか、食べ物を売るところを模索してくれないか」という意見がよく出ています。それについては、衛生法とか、食べ物を売るための幾つかの法をクリアできないということで、いつも進捗がないのです。何か方法はあると思います。保健所に相談してみるとか、ほかのこういった施設でどうしているのかとか、何とかして実現してほしいなど。よろしくお願いします。

また、たづくりの利用時間については条例で決まっているから、利用者が個別に議会に陳情を出してほしいとのことでした。それしか方法がないなら、そうしたいと思います。もう1つは、閉館のことです。毎月、月末の月火に連休があります。その上、さらに半年に1回、4日間連休でしたよね。事情はあるかもしれませんが、利用者にとってはとても不便です。来てみたら休みだと。それは、どういった事情でなっているのかお聞きしたい。そのときに、駐車場も閉鎖されますが、駅前で貴重な駐車場だと思います。遊びに来た人

ばかりではありません。役所の駐車場がああいう状態ですから、開放することはできないのでしょうか。駐輪場も同じです。

それから、公共施設について今、計画策定を進めようという時期だと思います。利用者団体への聞き取りとか説明は文化生涯学習課でなさると思いますが、今一体どういう段取りで進めようとしているのか、どういった計画を調布市として持っているのか、あるいは提案したいのかという総合的なことについて、私たちが聞いていく場合、どこに行ったら良いのでしょうか。窓口は文化生涯学習課で良いのでしょうか。総合計画にかかわることなので、全体をとりまとめるところがきっとあるはずで、そこのお話を聞く機会をもっといただきたいと思っています。

そのことについて、やはり皆さん不安に思っているわけで、質問が複数出ているわけですから、このことについて市民の関心が高いということで、ぜひ積極的な動きをしていただきたいと思います。

○木村企画課長

ありがとうございます。印刷室の件は意見でよろしいですか。

○L

お礼です。

○木村企画課長

では、あと3点、昼食と開館時間と公共施設の件です。

○佐々木文化生涯学習課長補佐

まず、昼食の件ですが、今、市役所で免震改修工事を行っている関係もあって、食堂と売店もなくなり、大変不便をかけていますが、免震改修が終わった後も、市庁舎にはレストランや売店を設置する予定は今のところないと私どもも伺っています。そういった中で、市庁舎にコンビニとか売店という機能は必要ではないかという議論もあったと聞いていますが、昨今、市庁舎も狭隘化が進んでいる中で、そういったスペースを生み出すのは難しいと聞いています。

そうした中で、たづくりでどういった形がとれるのか、色々提案いただきましたが、今後も検討課題としていきたいと考えますので、よろしくお願いします。

それから、たづくりの開館時間の件について、前回、条例への働きかけについて、議会に陳情を出されるという方法も1つの方法だというお話がありましたが、まずは市に要望として上げていただくということもあるので、そちらは皆さんでどういう意見があるのか

整理していただければと思います。

休館日の関係については後ほどということで、先に公共施設の関係、グリーンホールの整備の関係についてお答えします。

先ほど申しあげたとおり、生活文化スポーツ部では、グリーンホールの整備の考え方について、今、定期的にグリーンホールを利用している団体と意見交換しています。同じように福祉健康部では、総合福祉センターをふだん利用している団体に、説明、意見交換をしています。複数団体ありますので、そういったところを、まず年内いっぱいかけて行っていくことになっています。

その状況を踏まえて、年明け以降に、全体的な説明、市民の皆様にも周知する機会を設定する時期について決定していくものと考えています。それより前に、個別に意見交換を行いたいということであれば、グリーンホールのことであれば、我々に相談いただければと思います。そのことに関しては、行政経営部の公共施設マネジメント担当にも伝えますので、時期や方法については、また御相談させてください。

#### ○大割企画課副主幹

たづくりの休館日は、原則として第4月曜日とその翌日となっています。それから、2月と9月には、定例休館日とあわせて臨時休館日を2日追加して、4日間の休館日としています。設備の点検と館内の定期清掃を行っています。特に2月と9月の4日間の休館日については、消防点検とか電気設備の総合的な点検を行っていて、4日間ないと、館内が広いのでやり切れないということで、施設を安全にお使いいただくために、やむを得ないと考えています。

また、休館日の駐車場について、西館を利用する方については駐車できるようになっています。

#### ○F

今のグリーンホールの市民の意見を取り入れる件は、後で詳しく話を聞きたいので、後回しにして良いですか。今の説明では納得できないので、後で申しあげます。

#### ○L

利用者団体とか、よく利用するグループに聞き取りをするということだったのですが、前回お聞きしたとき、たづくりまつりを主催している公民館・たづくり利用者会議というグループがあります。その辺が抜けていたので、言ったら切りがないかもしれませんが、かなり大きなグループなので、ぜひ聞き取りと説明会をお願いします。



○佐々木文化生涯学習課長補佐

今、私どもからお声かけしているのは、グリーンホールについて定期的に使用している団体としています。現時点では、文化協会としか行っていませんが、桐朋学園、バッハ・コレギウム・ジャパン、青少年吹奏楽団など、そういったところとまずは進めていこうかと考えています。

公民館・たづくり利用者会議については、前回も御要望をいただきました。先ほどLさんから全体的な話を聞きたいというお話があったので、公共施設マネジメント担当にも伝えて、どのような形でやるのが良いのか、時期も含めて相談したいと思いますので、よろしくをお願いします。

○N

前から建て替えの話は出ていますが、私が前に参加した際、他市では30年、40年で建て替えるのではなく、リフォームして上手に使っていますという話をしました。そういう事例はご覧になられたのでしょうか。それとも、新築で行っていくという話で決まってしまうのでしょうか。

○佐々木文化生涯学習課長補佐

グリーンホールのお隣の総合福祉センターでは、区画道路を整備していく関係で、これまでの機能の維持が難しい状況です。また、グリーンホールは、外階段が道路区域としての駅前広場内に入っていて、階段を存置できない状況です。駅前広場の完成とあわせて、階段を撤去する必要がある、階段をなくしてもグリーンホールの機能を維持できるか検討してきました。階段がなくなると、1,300人の方々をどうホールに誘導するのか。また、いざというときに、どう避難させるのかという問題もあり、1,300席の機能を維持するのはなかなか難しいだろうという検討結果になっております。仮に存続させるにしても、今のグリーンホールについては、バリアフリー等の点でかなり課題も抱えていますので、そういった中で、建て替えを視野に検討を進めているという状況です。

○N

結局、広場をどうするかというのに付随して色々出てきている印象を受けます。広場とか道路のために福祉会館やグリーンホールを建て替えるということですね。

○佐々木文化生涯学習課長補佐

それは外的要因です。グリーンホール自体、築40年以上経過して、老朽化も問題です

し、バリアフリーの点でもかなり指摘いただいている部分が多々あり、課題もあります。そのため、今のままのグリーンホールを今後も継続していくことはなかなか難しいという中で、建て替えを視野に検討を進めています。

○N

40年で公共建築を建て替えてしまうのは、すごくぜいたくな感じがします。調布市はよほどお金があり余っているのかなど冗談に出るくらいで、もう少しそういう方面も考えて良いのではないかと私は思います。バリアフリーとって、エスカレーターをつけたり、エレベーターをつけたり、ある程度色々できるわけでしょう。

○佐々木文化生涯学習課長補佐

今のままですと、エスカレーターを設置するのはなかなか厳しい状況です。

○N

武蔵野市民文化会館とか新宿文化センターを前にも引き合いに出したのですが、みんな結構長年使っていたものを、またきれいにリフォームして使っています。40年で建て替えるというのは普通の木造建築並みです。ちょっとびっくりしました。

○佐々木文化生涯学習課長補佐

実際、建て替える頃には、さらにこれから何年かかかりますので、約50年という形にはなろうかと思えます。

○N

三鷹市もどうするかで結構もめているようですし、大きな問題だと思います。

それから、私たちはここ数年、階段撤去ということでグリーンホールの話が出てきて、えっという感じもあるので、今、Lさんが話されたように、全体構想を市民が全然分からないので、利用者団体だけではなくて、年に何回か聴衆として使っている一般の人もいます。

定期的に利用している人だけでなく、1,300人の聴衆が毎回いるわけですから、そんなに具体化しているのであれば、早い時点で、一般の人にも分かるように話をしていたきたいです。

○佐々木文化生涯学習課長補佐

そこは公共施設マネジメント担当とも相談していきますので、よろしくお願いします。

○P

Pと申します。私は合唱団に所属していますから、文化協会も加盟していて、先日の話

し合いの場に私も参加して、グリーンホールの件を伺いました。今、都市計画だとか色々な計画のもとに階段も使えなくなる、あるいは道路を13メートルに広げなければいけないので、今の面積を確保するのは難しいという説明も受けました。

まずは、あそこを道路指定にして、階段部分まで道路にしてしまった。作成した計画は、たづくりの皆さんではなくて、違うところで作ったのかもしれませんが、今のグリーンホールの1,300というのは決して大きくない。最低でも今の規模のホールを維持してもらいたいという意見を出していました。

道路の拡幅の問題も、今、福祉会館の南側が一方通行になっていると非常に安心して歩けます。あれが相互通行になると、道も広げなければいけないが、交通の危険を利用者が感じるのではないかという意見も出ました。

そういうところもぜひ検討していただきたいし、収容人数も小さくなるのに、なぜあの階段を道路にしてしまったのが非常に残念ですので、見直しができないものか、ぜひ検討していただければと思います。

もう一件、グリーンホールの件は細かく説明していただきましたが、意見を収集する場を設けてもらいたいということです。

あと、話が変わりますが、実は利用者会議の中で、先日の台風のときに、グリーンホールとかたづくりが一時避難の場所になりましたが、相当混乱したようです。避難した人が名前登録をするために、雨風の中でずっと列を作らなければいけなかったというところから、避難するために、どれぐらいの人たちがグリーンホールとかたづくりを使ったのか。そこで課題が見えてくるようであれば、ぜひ対策もしていただきたいし、どんな現状だったのかをぜひ聞いてきてくださいと言われました。ここで質問するのが適切かどうか分かりませんが、情報があれば教えてください。

○佐々木文化生涯学習課長補佐

台風19号は、10月12日土曜日に関東地方に上陸しました。その前日11日金曜日に、調布市としては、富士見町、深大寺、入間町、菊野台、下石原の5か所の地域福祉センターを初めて自主避難所として開設することを決めました。翌12日土曜日の午前8時45分の段階で開設しました。ただ、台風19号の時は、早目の避難を促すような報道等もあって、当時、私は下石原地域福祉センターに従事していたのですが、多摩川地域の方々がかなり早目の段階から自主避難所に多く避難しているような状況でした。

そういったところを踏まえて、市としても、さらに第二小学校、第三小学校を自主避難

所として開設したこととあわせ、グリーンホールを緊急で避難所として開設できないかという話になり、午後2時から準備して、午後3時15分に避難所として開設したという状況です。その後、避難勧告が出されたこともあって、グリーンホールには1,700人を超える方が避難してきたと聞いています。そういった中で、グリーンホールもいっぱいという中で、くすのきホールについても午後6時45分の段階で開設して、グリーンホールから約150人の方が移動したということです。夜中過ぎには雨風ともに大分弱まったという中で多くの方が帰られて、翌朝まで館内にとどまった方は数十人という状況だったと伺っています。

今回、急遽グリーンホールとたづくりのくすのきホールを避難所として開設していただき、もともとは水害時、グリーンホールに避難所を開設する初動要員としての配置が明確にされておらず、今回は、生活文化スポーツ部の職員と財団の職員の皆様で開設に当たったところです。

今後、水害のときには、多摩川地域に暮らしている方から見ますと、グリーンホールは布田崖線より高いところにありますので、こういった形でいらっしゃる方が多くいるのかなと考えます。今回、車で移動されてきた方や、ペット連れの方もいっぱいいた中で、財団の方々には柔軟に対応していただきました。そういったところも含めて、我々としても、総合防災安全課やほかのセクションも併せて、今後の避難所のあり方等について、もう一度検討していく必要があると思っています。

○S

私は学習グループのつむぐというグループで時々使わせていただいた立場で、今日は少しだけ質問します。

利用時間の枠で、午前中と午後で分かれています。利用時間は9時から12時までと1時から4時半までで、午後が30分長くなっています。保育つきで2時間の学習会をしたときに、前後に30分、保育士さんに来ていただいて、準備したり、やりとりがあると、3時間だどぎりぎりになってしまうのです。できれば、午後の3時間半の枠を押さえたいのですが、なかなかうまくいかないときもあります。あくろすだと1時間ごとに利用時間が設定できるようになっていて、市民は使い分けをされているのだらうと思いますが、午後も30分長くなると、どちらの枠でも使いやすいなと思うことがありました。

それから、今、時々みんなの広場も使うのですが、あそこのスペースが結構気に入っていて、自分の活動をしながらも、色々な活動している方の様子が何となくうかがえて、色

々なことをしている方がいらっしゃるのだなということが伝わってくるのです。あのよう  
に気軽に使えるスペース、1階のテーブルと椅子が置いてあるところもそうですが、市民  
は求めているのかなと思います。スペースがあって、ソファがあるとか、テーブルがあ  
るとか、そのぐらいで良いと思うのです。たづくりの建物は、皆さんが使う部屋は暗いと  
ころが多くて、なかなか使いづらいところもあると思いますが、できるだけ市民が気軽に  
使えるスペースをあちこちに確保していただけると良いかなと思います。

それから、せんがわ劇場のことで、意見・要望のなかにせんがわ劇場にボランティアで  
関わってこられた方からの意見がありまして、それに対して、理事会があるので、そこが  
中心になるということですが、事業のために街に出た際などにどのような感じでしてい  
らっしゃるかとか、そこで色々意見は出ているのかということを知りたいです。

#### ○大割企画課副主幹

利用時間の件について、今までの利用者懇談会で同種の要望を承っていますが、色々  
お客様がいて、色々な使われ方があるという中で、今の利用時間の設定になっていると理  
解しています。

あくろすとの違いですが、ホール系の施設もあるので、それとあわせた利用の仕方とい  
うことで、おおむね3時間ごとの利用時間になっています。

午前と午後で1時間の間がありますが、主として清掃とか点検をしているということ  
で、貸し出し施設が40以上あるので、一定時間の空き時間が必要と考えています。

それから、フリースペースの拡充の件についてです。これまでもそのような要望があっ  
て拡充に努めてきましたが、意見として承りましたので、これからも努めていきたいと考  
えています。

#### ○岡野芸術振興事業課副主幹

せんがわ劇場の件については、前回のときに出ていた意見だと思いますが、ちょうど今  
日、市民参加演劇の公演初日ですが、この事業では事前にまち歩きをしてみて、色々な  
ところを見て回ったり、夏のお祭りのときに商店街の人と打ち合わせをする時間もあるので、  
そういった部分でニーズが掘り起こせると良いなと思っています。そういったところで意  
見を伺うようにしています。

劇場に来ているお客さんを商店街の活性化につなげられないかといった意見は確かにい  
ただいていますので、今後どういうことができるのかも含めて検討したいと思っています。

ボランティアの方々については、これまで直営のときと同様に、今現在も事業を一緒に

進めています。特に夏祭りなどについては、ボランティアの有志の方が企画の一部を考えて自分たちで実施するなど、これまでどおり、プラスアルファ、もうちょっと踏み込んで、一緒に活動できる部分を提供できていると思っています。

○U

Uといます。去年も参加したので、今日で2回目になります。

質問は2点あります。

まず、たづくりの関係ですが、私が施設として使うのは8階にある学習室です。一般学習室を使ったり、社会人学習室を使ったりしていますが、空調の関係でまず1つ。社会人学習室は20人入るといった状態です。夏にしても、冬にしても、今ぐらいの時期にしても、座る位置によってすごく暑かったり、寒かったりして、居心地が悪いです。隣の一般学習室だと結構広いので、空調も万遍なく行き渡って、座る位置によって暑かったり、寒かったりというものがないので、割といやすいのです。そのかわり、机が狭かったりして使いにくい部分があります。

狭いので仕方ないですが、社会人学習室の空調に関して、湿気とか、風邪をひいている人がいると、せきが蔓延して、変な病気でも移されそう気分になって、途中で切り上げる場合があります。

それから、周辺の上の階とか隣から歌声が聞こえてきたり、映像シアターの隣にありますから、そこを訪ねてきた人がうろうろしたりして、廊下での話し声など、うるさくて仕方がないのです。そういうことがままあるので、それが何とかならないものかどうか。

入っている人のマナーも問題があって、社会人なので、皆さん大人ですから、余り細かいことは言いたくないのですが、テーブルの脇の通路に持ってきたかばんを放り投げて、通るのに邪魔になる人もいます。学習室を取り巻く、空調、温度、汚れ、周りの騒音、使っている人のマナー、そういうものを再度一考してほしいのです。今すぐどうのこうのとは言えないでしょうから、返事が欲しいです。ここでただ私が言って、「はい、検討します」という返事をもらって、それっきりではなくて、何らかの形で返事が欲しいのです。

○大割企画課副主幹

前回いらしたときも、マナーの件について意見をいただいたかと思いますが、そのときも、たしか直接お返事を申しあげているような気がします。

マナーのことについて最初に申しあげますが、通り一遍の回答で恐縮ですが……

○U

変わらないのですよ。

○大割企画課副主幹

引き続き啓発に努めていくということで、利用者が主体ですので、もちろん私どもが注意喚起しますが、それぞれの方に配慮していただくよう、働きかけていきたいと思えます。

○U

そんなことないです。パソコンを持ってきて使っている人が多いですし、パソコンの音を立てないようにというのがありますが、周りの迷惑を考えずに、テーブルの上にどさつと置きますし、通るときも机にがさがさ当てるのです。窓口の方が、利用するとき、紙コップに入った飲み物を持ってくるな、ペットボトルとかしめられるものに入れたものに限定してくれと色々説明するので、それと並べて、マナーとして床に物を置くなとか、そういうのを追加してほしいのです。今そういうことは追加していませんよ。

○大割企画課副主幹

一つ一つのことは、個別にお声がけをする以外にないかと思えます。

○U

いや、そんなのは無理ですよ。だって、ペットボトルに入ったものしか置くなと言っているながら、何で通路にかばんを置くなと言わないのですか。追加すれば良いだけのことでないですか。そんなものは簡単なことですよ。

○大割企画課副主幹

それは、そのお客様がそのように感じているということは理解しましたので。

○U

だから、そんなのでは何も改善されないのです。そういうのを役所的な返答というのですよ。そんなもの、いつまで言っていたって何ら改善されないではないですか。

○大割企画課副主幹

マナーについては、個別に後ほど返事しますので、そのほかのことについてお答えします。

○U

では、引き続きいきます。さっきも言いましたが、マナーではなくて、周辺の音。隣の実習室で歌を歌っている人がいたり、笛を吹いたり、通路を歩く人が騒いでいる。そういう人が後を絶たないのです。映像シアターに来た人が、映像シアターが分からなくて迷っている人がいますし、そういうのも徹底してもらえませんか。上の物音は何でしますか。

ここはビルだと思いますが、かなり激しい音が聞こえるときもあります。

○大割企画課副主幹

色々なお客様が、色々な用途で利用しますので、それはお互いさまということで、一定程度は……

○U

こっちは学習室として使っています。そんなのでは学習室の役割が果たせないではないですか。そんなのでは甘いのです。国がろくでもないことで国民を監視するのではなくて、そういうしっかりしたところで、地に足がついたところをしっかりと監視してください。

○大割企画課副主幹

そういうお気持ちであるということは理解しました。

○U

それから、これに関しても返事をください。変わらないなら変わらないで結構だから、返事をください。前回出てみて、言いつ放しではないですか。

それから次、いまだ洋式になっていない、和式のトイレが結構あります。実際、あれを好んで使う人はいません。洋式と和式があったら、ほとんど洋式に入ります。まして、高齢化が進んでいる時代に、わざわざ和式など使いません。だから、和式はもう撤廃して、全部洋式にしてもらえませんか。

○大割企画課副主幹

トイレの中に、1か所だけの個室が和式だったところがかつてあったのですが、全て洋式化しました。個室が複数あるところについて、和式が残っているということですが、全てを洋式にするという考えはありませんが、少しずつ……

○U

どうしてですか。

○大割企画課副主幹

そういう方もいらっしゃるからです。

○U

和式のほうが良いという人はいますか。

○大割企画課副主幹

中にはいらっしゃるかと。

○U



それは想定でしょう。全部をとりかえないためのでっち上げの理由ですよ。

○大割企画課副主幹

計画的に洋式化を進めているということです。

○U

洋式化を目指している。ただ、今、費用がないからできない、そのような理解で良いのでしょうか。

○大割企画課副主幹

おおむねそのとおりです。

○U

おおむねじゃないでしょう。100%そうでしょう。では、ここに和式を使いたいという人を連れてきてください。そんな人いないでしょう。甘いのです。回答が。この場をしるべき良いというものではないのです。これも返事ください。

それから、地下1階の駐輪場を私はよく使いますが、周りは部屋で囲いがあって、長い通路になっています。あそこはすごく物騒なのです。前、中学生だか高校生がスマホをいじって、通路に座り込んでいて通れないときがあったのです。それも下手に「君たち、邪魔だからどいてね」と言えば、今のあの年代の子どもたちはどういう反応を示すか分からないですから怖いのです。娘もそう言っていて、通路を通らなければいけないから、あそこの駐輪場を使えないのです。だから、あの通路も何とかしてくれませんか。あの物騒なのを何とか改善してください。あそこで犯罪があったら、何か防犯対策はできていますか。

○大割企画課副主幹

物騒というのは暗いという意味ですか。

○U

暗いというか、周りに何も無い。建物の部屋で20～30メートルぐらい囲まれています。エレベーターを降りてから突き当たりのトイレに行くまで20～30メートル通路があって、その脇に図書館の書庫か何があるか知らないですが、その通路のところには何も無いから物騒なのです。特に夜などは。人が複数ぞろぞろ通ってれば良いのですが、あそこはそうではない。私が通るときは、いつも大抵1人です。ほかに人が歩いていても、せいぜい1人、2人、あとは掃除の人とか施設の人が時々すれ違いますがそれでも。

例えば、あそこで何か犯罪があったとき、隠しカメラでも撮っておいて、犯人が挙げられるような対策を何かとっていますか。そういうことを私は聞いているのです。

○大割企画課副主幹

廊下そのものには設置していません。

○U

では、もしあそこで傷害事件とか何かあったら、どのようにして犯人を割り出すというか、対策を講じるのですか。普通だったら、危ないようなところには隠しカメラとかあるではないですか。

○大割企画課副主幹

そういう御意見だということは分かりました。

○U

御意見はいいですが、これも返事をください。それから、これに関してはどこが決めるのですか。

○大割企画課副主幹

対策を考えるのは、私ども財団です。

○U

財団がここの管理者ですからね。全部返事ください。以上がたづくりの件です。

それから、もう1つ、映画祭の件で。今年から料金をとるようにしたみたいですが、一昨年までは料金をとらない形で映画祭を進めていました。去年行ったときから料金をとるようなスタイルに変えています。しかも、業者であるシアタス調布と一緒に映画祭を運営しています。そのようにしてしまったのはどうしてですか。それから、どこかで公表されているのかもしれませんが、映画祭の収支についても教えてください。

○土井文化・コミュニティ事業課長

料金をとるようにしたのは、今まではテーマを決めて、見る側の方たちが実行委員会をつくって、上映を決めて、上映していました。28年度までは割と古い作品を行っていた部分もあって、そのときは無料で行っていました。

今回、私どもで新しいシネマフェスティバルを2019年3月から実施していますが、基本的には1年前ぐらいの期間で、調布で映画賞を設定して与えようというところから、映画賞をつけた映画を中心に、準新作みたいなものを上映しています。そちらについては、古い映画でもないですし、映画をつくるに当たっても制作費等かかっていますし、今回シネマフェスティバルで掲げているものが、映画をつくるまち調布という形で進めているところから、市内の映画の産業の方々の協力、あとは市外にはなりますが、制作会社の協力

等を得ながら行っています。

したがって、映画をつくることに関してはお金がかかっていますので、少しでもその足しになればというところで料金をいただいています。

○U

普通、映画祭で、日本アカデミー賞でも、ほかのところでも、大体準新作みたいなのを上映します。準新作という言葉が適切かどうか分かりませんが、その年にあった映画を上映します。だから、古いのに比べてお金はかかるのでしょうか、前は幾らだったのか、それが今度幾らになったのかという具体的な数値を私は聞きたいのです。

それから、シアタスと一緒に行ったのはなぜですか。あれは1つの株式会社で、映画業者の1つです。さらに言うならば、色々な映画業者、撮影とか現像とかも呼んで、業者の紹介みたいなことを今年の映画祭でやりました。こんな映画祭を行っているのは、私は恥ずかしくて、ほかの人には言えないです。それは好みの問題だから、そこまでは言いませんが、ほかの業者とつるんで、調布がほかの業者がもうかるようなことをするのはなぜですかと聞いているのです。とても映画祭というようなものではないです。

古いからといったって、お金が全くかからないわけではないでしょうし、それが幾らかかるようになってから料金を徴収するようにしたのか。ゼロから、いきなり1,100円だか幾らかになりました。割引とかあって500円なのかよく分かりませんが。そのようにしたのは、金額が幾ら足りないから料金を観客からとるようにしたとか、そういう説明が欲しいのです。それから、その収支は何かで公表していますか。

○土井文化・コミュニティ事業課長

今、財団では事業報告書という形で出しています。

○U

事業報告書は誰が見るのですか。市民が見るようなものですか。

○土井文化・コミュニティ事業課長

市民も見られるようになっています。今、リクエストいただいた細かい数字については持ち合わせていませんし、間違ったことをお教えしてもいけないので、改めてこちらから連絡します。

○U

では、そうしてください。さっきのたづくりの件も連絡してください。

それから、公の場で私は発言していますので、返事は私だけにするのではなくて、ほか

の方たちにも分かるようにしてほしいです。

○F

Fです。議題は事前に配布しています。第1項のグリーンホールの計画の件ですが、これは、私が以前に、1,300の定員が700程度になってしまう。それがほぼ決定事項になりかけているのを聞いて驚いて、それから始まった話ですが、利用する団体だけでなく、利用する市民の意見を聞く会をぜひつくってもらいたいということをお願いして、前回の要望事項の第1項では、「今年度末にグリーンホール整備方針を策定することにしており、策定に当たっては具体的な日程は未定ですが、市民の皆様との意見交換も予定しております」という返事をいただいています。

今年度末に策定するためには、市民との意見交換はその前に実施しなければならないと思いますが、それが今日配布された要望事項等対応表に書いてあるとおり、「下半期にはパブリックコメントの手続を実施する予定です。それに向けての説明会をするのかなど、こういった市民参加の手法を実施するのにかについては、公共施設マネジメント担当とも相談していきたいと考えています」と、後退してしまっているわけです。今年中に市民の意見を聞く会をやりますという前回のお約束にかかわらず、今回はそうでない。どうしようか、これから相談しますということでは、市民の意見を聞くつもりはないのではないかと。

私どもが一番心配しているのは、例えばせんがわの何とかという設備で、斜めになった回廊を作ってしまう、目が回るからということで、税金で作り直したこともあったし、現にたづくり12階の音響設備も、真ん中あたりではスピーカーがハウリングを起こして、非常に聞き取りにくい設備になっている。それから、たづくりではないですが、つつじヶ丘駅の外観ですが、材木がむき出しになって斜めに置いてあるので、あれは工事中で、まだこれから工事するのだなと私は思っていたのですが、実はあれが完成形で、外から見ると、工事中のようなものがついている。

要は、プロの建設設計者、あるいは業者は奇をてらって、利用する市民の目から見ると、全くニーズに応えないような設計をよく行ってしまうわけです。それを市の担当者はチェックできなくて、そのまま受け入れてつくって、後で税金で作り直していることがあるので、ぜひ今期中に、利用団体ではなくて、利用する市民の意見を聞く会を行ってほしい。前はそういう約束をいただいているので、今回みたいな後退した答えでは、どうも納得できません。

特にグリーンホールについては非常に危機感を持っていて、1,300が600減って

700になってしまっても困るので、ぜひ市民のニーズを入れる会を設けてください。前回、具体的にいつやるかお答えいただきたいと申しあげて、1週間ほど前、榊さんにも電話して、既に済んだものだと思って、「もう行ったんですか」と言ったら、「まだ行っておりません。これからどうするか考えております」という答えです。それでは困るのです。だから、約束したものは守っていただきたいということです。

次回までに具体化しなかったら、ふれあいトークキングで市長にまで上げます。そうでないと進まないのであれば、そうせざるを得ないです。要は、市民の意見を取り入れる会を早く行ってもらいたい。これは何回行っても良いです。早過ぎるということはないと私は思います。ある程度、案が固まってしまってから相談しますでは遅過ぎることが今まで多いので、ぜひお願いします。

○佐々木文化生涯学習課長補佐

先ほど申しあげましたが、今、利用者団体等との意見交換を始めています。要望いただければ、例えば公民館・たづくり利用者会議の皆様ともそういった場を持てればと思っています。そういった状況を踏まえて、今後、広く市民に説明する場合は、グリーンホールの整備の考え方と総合福祉センターの整備の考え方とあわせてという形になると思います。そういったものを実施していく時期を、年明け以降に見定めていくというような状況ですので、そちらはできるだけ早くという意見もいただいていますし、御意見については我々からも公共施設マネジメント担当に伝えますし、早期に実現できるようにと思っていますので、よろしくお願いします。

○F

要は、市民の税金を使ってつくる設備ですから、利用者団体の意見を聞きましたで終わりではなくて、利用する市民の生の意見をどんどん織り込んでいただきたいわけです。よろしくお願いします。

次にホームページのことですが、たまたま知人から、たづくりに行くにはどうしたら良いのかという質問があったので、ホームページを見れば分かるというアクセスのところを見てみたら、アクセスの説明の言葉の順序、題目の位置、案内図では駐車場の入口が「駐輪場」になっていたり、色々な間違いがありましたので、ぜひ全般を見直してもらいたいという願いをして、常務理事さんからは、9月27日までに全部見終わりましたというメールをいただいているのです。

その後、10月25日に、さても全部直っているのだろうなと思って見直したら、例え

ば事業計画、事業報告にしても、更新日時が昨年7月11日時点の平成30年度の実業計画は載っているが、更新が14か月前のものがそのまま放置されている。

それから、たづくりの駐車場の案内で、機械式と地上式を区別して表示すべきものが、混在している。後で見直したら、「お車でお越しになる場合」の大型車の場合に、「京王相模原線の踏切を越して」という記事がそのまま残っています。更新すべきものは、ちゃんと間に合う時期に更新してもらおう。

それから、事情が変わったことがないか、誰かホームページをチェックする人を決めておく。それを判断できる人でないとだめです。チェックしましたでは、いまだに残っているわけですから。常務理事さんは全部ごらんになったかどうか分かりませんが、私が常務理事さんに全部目をとおしてくださいと言ったのはそういう意味で、恐らく常務理事さんは全部見ていないと思います。

ホームページそのものは、皆さん頼りにするので、記述に間違いがないか、あるいは更新すべき時期に更新されているかどうか。例えば、昨年の事業計画が、今年になって、いまだにそのまま残って、今年分が書いていないということがそのままになっている。これは、後で見直したら、今年分が慌てて追加されました。そういうことがないように、ホームページ自身、チェックする人を選任で決めて常時見直しておくとか、日本語の分かる人がチェックして、誤りがないか、更新すべきものは更新されているかどうかをぜひ行ってもらいたいと思います。せっかくなつくってあるホームページなので、ぜひよろしくお願ひしたいと思います。

○土井文化・コミュニティ事業課長

ホームページの件ですが、指摘いただいた部分はほぼ直っています。これからもまだ駅前がどんどん変わっていく部分がありますので、これを機にというわけではないのですが、私たちがしっかり見て、変わっているところはちゃんと変えていくようにチェックしますので、今後ともよろしくお願ひします。

○F

要は、9月27日に全部見直しましたという返事をいただいているものだから、そう申しあげている。見直しておられないわけです。あるいは、見直しても見逃しているのだから、私みたいな年寄りが気がつくことですから、若い皆さんは、もっとちゃんと気がついてもらいたいと思います。よろしくお願ひします。

○L

まだ意見交換会を行っていないという話だったので、びっくりしたのですが、「グリーンホールの更新に向けては、総合福祉センターの更新に向けての基本的な考えとあわせて、今年度中に基本的な考えをまとめた整備方針を策定する予定です」とあります。今年度中というともう半年しかありません。今年度中に基本的な考え方による整備方針を策定しますか。

私は、調布駅前広場の樹木を守る会といいまして、樹木を切らないでという運動から始めて、なぜ駅前広場の木を切られなければならなかったかといった問題を行っていく運動を4年ほどしています。2021年度から駅前広場の工事が始まる。その前の年、つまり来年は設計をする。その前の年の今年に概要を決める。平成25年に、市から出た駅前広場検討図という絵が駅前に貼ってあります。そのとおり、その計画のまま実行するわけではない。市民の意見を聞き入れて、この半年で概要をつくっていくということで、今、市民参加の手続を3つ行っています。

その1つが、市が夏に行ったオープンハウスによる街頭アンケートです。442人の参加があって、書面では200人足らずの人たちが各項目について答えた、その膨大なデータがあります。それが市民参加の方法の1つ。

もう1つが、駅前広場検討会というのを今行っています。4回にわたって15人の委員が選ばれました。指名されたり、公募したり、その中には専門家が4人入っています。それから、例えば子ども・子育て会議からの代表、都市計画審議会からの市民委員の代表が5人、地域の市民団体が4人、その中の樹木を守る会の代表として私も出ているのですが、その15人による検討会がありまして、2回終わったところです。傍聴人が60人ぐらい来ます。

もう1つの市民参加が、17日から始まった、郵送配布で16歳以上の市民3,000人に、無作為抽出でアンケートをしているもの。その3つが市民参加の方法として手続がとられています。

それをもとに、最終案をなるべく今年度中につくりたいと言っているのです。これで福祉センター、グリーンホールについての更新について、まだ一度も意見交換会をしていなくて、同じような時期に整備方針を策定することは非常に難しいのではないのでしょうか。それだったら、市民の意見を聞いて、それをもんで、例えば民意を捉えて、そして整備方針を策定するという時間的な余裕はありますか。今行っているのです、駅前の広場のことかなと私は思ったのです。こういうタイトなスケジュールでできるのですか。

○佐々木文化生涯学習課長補佐

当初は整備方針という名前でまとめるということで考えていたところですが、今、おっしゃられたように、整備方針というと、整備に向けた計画が固まってしまっているようなイメージを与えてしまうので、まず今年度としては、市としての今後の大きな考え方として、グリーンホールと総合福祉センターの施設整備の考え方という形でまとめていきたいと考えています。そちらについては、先ほど来、御意見をいただいているように、広く市民の皆様説明して、御意見をいただくような機会をと考えています。それをもとに今後、例えばグリーンホールでいきますと、令和2年度以降、今度は基本構想をつくっていく形になります。その過程では、アンケートも含めてどういった形になるのか、まだ確定はしていませんが、様々な市民参加手法を重ねながら、基本構想をつくっていく予定になっています。

今年度の整備の考え方で、それでもう決まりということではなく、今後も市民の皆様から御意見をいただきながら、少しずつ具体的な検討を進めていきたいということです。

○L

整備方針という言葉を変えたほうが良いですね。

○佐々木文化生涯学習課長補佐

そこは我々も注意していきたいと思います。

○L

何か行政である場合に、市民参加があるのは普通です。計画の段階から市民が参加していくというのは当たり前で、そうしなければならないことですし、調布市の場合は、市民参加プログラムがあったりして、その姿勢はあると思うのです。最初の段階から市民が入るという形で、ぜひ行っていただきたいと思います。

○F

私は市民団体には属していないので、独立した市民の意見を入れる場をつくってもらいたいということです。結局、市民団体をとおしていないとだめだとか、そういうことでは困ります。我々個人として気がついている点が随分色々あるはずで、私自身にしても、さっき申しあげたように3つぐらいあります。ほかの方も持っていらっしゃると思うので、団体経由ではなくて、ぜひ個々の市民の意見を吸い上げる会をつくってもらいたいと思います。それから、具体的に案がまとまってしまってから、ガス抜きみたいな格好で、一応意見は聞きましたということにならないように、ぜひ間に合う時期に、市民の意見を聞く



会を具体化してもらいたいということです。くれぐれもよろしくお願いします。

○木村企画課長

ありがとうございました。そのほか、よろしいでしょうか。

○U

ちょっと聞きたいのですが、市役所の食堂と売店がなくなるみたいですが、理由を言ってください。

○佐々木文化生涯学習課長補佐

今は、免震改修工事を行っています。もともと食堂は、市の職員共済会が実施していて、免震改修工事で使えなくなるので、一旦クローズになりました。共済会としては、今後は食堂を設置する予定はないとなった中で、先ほども申しあげましたが、市役所は職員も増えてかなり狭隘化が進んでいて、事務スペースもかなり狭くなっています。会議室なども足りない状況の中で、今後、免震改修工事が終わっても、レストランとか売店のスペースを確保するのが難しい状況だと伺っています。

○U

事務スペースがないとか、そういう自分たちの都合の話は聞きましたが、なくなることへの市民と職員への影響に関しては、発言の中に全く見られなかったもので、それはどう考えていますか。

○佐々木文化生涯学習課長補佐

共済会では、食堂をなくすに当たり色々と検討した中で、今、市役所2階の正面玄関に入って左手に、みずほ銀行のATMがあります。その隣に、コンビニ自動販売機という、スナック菓子やおにぎり、総菜パンや菓子パンを買える自動販売機を設置したというところで、代替案としては、そういった形で対応しています。

今後の方向については、先ほどLさんからも意見をいただきましたが、例えばたづくりで何ができるのかといったところも含めて、我々も市で検討していけたらと考えていますので、引き続きの検討ということで理解いただければと思います。

○U

何でも検討ですね。検討は必要ですが、ただ茶を濁すだけの返答でしたら聞きたくないです。それから、先ほど私が言ったことの返事、映画祭とたづくりの施設云々のことは、どういう形で返事をもらえますか。

○大割企画課副主幹

前回、メールアドレスを教えてくださいましてお返ししましたので、今日も出席表に書きとめていただければ、そこにお返しします。

○F

グリーンホールの計画の件ですが、具体的なスケジュールをぜひ教えてもらいたいです。ある団体の意見をいつごろ聞いて、市民の意見をいつごろ聞いて、計画策定はいつでというような具体的なタイムスケジュールをおつくりいただいて、それをぜひ教えてもらいたいわけです。要するに、市民の意見が新しいグリーンホールに反映されるように、その点は確認していきたいので、タイムスケジュールをぜひ明確にして、次の機会でも良いですから、教えていただきたいという申し入れをしておきます。よろしくお願いします。

○S

食堂の件でふと思い出したのですが、たづくりの何階かで作業所の方のパンを売っているのを見かけたことがあります。あれはどれぐらいの頻度で来ていますか。7階の奥だったかな、たまたまですか。定期的に来られているわけではないのですか。

○阿部事務局長

あれは、職員向けに作業所の方が持ってきていただいて、図書館の職員や我々財団の職員も買っているという状況です。

当日のパンの売れ方によっても違ってくと聞いています。教育会館も、たしか5階あたりにパンを持って行って、職員の方にはどうですかといった感じで来ていると聞いています。

○S

その業者の方のパンをたづくりの1階で、一般の市民向けにというのはだめなのですね。

○土方理事

ここでも色々要望が出てきていますので、それを含めて今、市で色々考えているみたいですが、まだ何とも分からないのですけれども。

○佐々木文化生涯学習課長補佐

市役所でも時々福祉作業所の方がいらっしゃいます。私はもともと5階のフロアにいましたが、「今から5階の打ち合わせコーナーで販売してよろしいでしょうか」と、急に来るのです。多分、売れ行きによって持ってこられるのかなと思います。

○S

分かりました。ありがとうございます。

○木村企画課長

ありがとうございます。どうぞ。

○L

何回も質問させていただいて申しわけないです。

せんがわ劇場の運営委員会のことですが、その右側にある「財団には理事会があります」と。理事会とせんがわ劇場にかつてあった運営委員会とはどのように違うのですか。

○岡野芸術振興事業課副主幹

せんがわ劇場の運営委員会は、事業の実施を決める会です。財団の理事会も、事業の実施を決める会です。今まで直営で行っていたときには、補助金を出して実行委員会の人たちが事業を行っていました。財団としては理事会があるので、事業実施については、財団の理事会の中で決めていきます。そのかわり、市民の意見を全く聞かないとか、そういうことではないのです。ただ、実施する決定権をどこが持っているかという部分だけの話になるのです。

○L

運営委員会という名前ですと、市民の意見が随分入りそうなイメージです。私はそう思います。理事会といたしますと、市民は入っていないのですか。

○岡野芸術振興事業課副主幹

市内の方をお願いしています。市民団体という点でいくと、文化協会の役員に入っています。なので、文化活動をしている人が誰もいないということではないです。

○土方理事

岡野が説明しましたように、地域に出ていき意見を吸い上げ、それを理事会の中で検討していく形になっています。形態が直営から少し変わってきたという形で認識していただければ分かりやすいかなと思います。

○N

何で直営から変える必要があったのですか。

○佐々木文化生涯学習課長補佐

市の職員は、平均すると3年ぐらいで異動がある中で、劇場の運営という、ある種専門性のある業務を継続的にやっていく上では、なかなか難しさがあったところが大きなところであります。指定管理ということで、これまでグリーンホールや、たづくりのくすのきホール等でも実績のある財団さんに管理運営をお願いしたという経緯です。

○N

グリーンホールとかくすのきホールと同じ形式に変えたということですか。

○佐々木文化生涯学習課長補佐

財団で管理運営していただくことになったと。

○土方理事

例えば今までせんがわ劇場は、予算の関係で、チラシとかパンフレットはつつじヶ丘あたりまでしか配っていませんでした。一方で、西のほうの地域の人には、せんがわ劇場で何を行っているか余り分からないという状況がありました。今、財団が運営することになり、財団報「ぱれっと」でもせんがわ劇場の情報が掲載できるようになりました。そうすると、飛田給とか西調布の方がせんがわ劇場での音楽会に来るようになりました。そういう意味で、情報がすごく大きくなりました。

また、今までせんがわで行っていた色々な演劇があります。それを今度はくすのきホールとか、こちら側にも将来的に持ってくることができます。グリーンホールの大ホール・小ホール、くすのきホール、むらさきホール、せんがわホールを財団が管理するようになりましたので、新しい展開につながると思いますので、よろしくお願いします。

○N

今、工事している場所で、将来、食堂がなくなると言いましたよね。その後は、あの場所に何をつくるのですか。

○佐々木文化生涯学習課長補佐

私のほうでそこまで把握していないのですが、1階の部分には会議スペース等が配置されるのかなと……申しわけございません、私、直接その部署ではないので。

○木村企画課長

よろしいでしょうか。

それでは、本日は多岐にわたり、貴重な御意見を頂戴しまして、ありがとうございます。こちらから直接お答えしますことについては、お答えを差し上げます。今後のたづくり・グリーンホール・せんがわ劇場の運営に生かしてまいりたいと思います。

また、今後何かお気づきの点がありましたら、7階の事務室又はお電話でも結構ですので、お気軽にお声をかけていただければと思います。

なお、次回の利用者懇談会は、令和2年度上半期中の実施を予定しています。今後、ホームページ、広報誌「ぱれっと」等でお知らせします。

それでは、これもちまして、令和元年度第2回利用者懇談会を閉会とさせていただきます。本日はありがとうございました。

——了——